第73回 天龍峡夏期大学

輪 ～これからの地域コミュニティを描く～

入場無料
定員各100名
※事前申込

第1講
7.15(火)
19:00～20:45

北海道の唄うたい　瀬戸口（せとぐち） 正樹（まさき） 先生

※ライブパフォーマンスあり

笑顔と元気を届ける唄の力を信じて

北海道滝川市出身。1998年よりギターの弾き語りで日本全国を回り始める。フォークをルーツに「愛と日常」をテーマに唄い、毎年約100本のライブを通じて多くのファンを魅了。2019年には、飯田市の方をモデルにして制作したCD「旅のガラクタ」をリリース。
今回の講座では、全国各地を唄い回る中で、感じたこと、見たこと、触れて生まれた想いを、愛する天龍峡の皆さんにお届けします。

第2講
7.16(水)
19:00～20:45

SBC信越放送アナウンサー　尾関（おぜき） 雄哉（ゆうや） 先生

アナウンサーの「伝える」

飯田市龍江地区出身。大学卒業後、2015年にSBC信越放送入社。現在は、ずくだせテレビ、SBCスペシャル、スポラジ、スポーツ中継などで活躍中。
私たちは日常生活の中で、何気なく「伝える」という行為をしていますが、実は思っている以上に難しいものです。特に情報を正確に、かつ効果的に伝えることは、アナウンサーにとっての重要なスキルです。
今回は、アナウンサーとしての経験を通じて、伝えることの難しさと伝え方のコツについてお話しします。

第3講
7.18(金)
19:00～20:45

常葉大学 名誉教授　重川（しげかわ） 希志依（きしえ） 先生

過去の災害から本当に大切なことを学んできましたか？

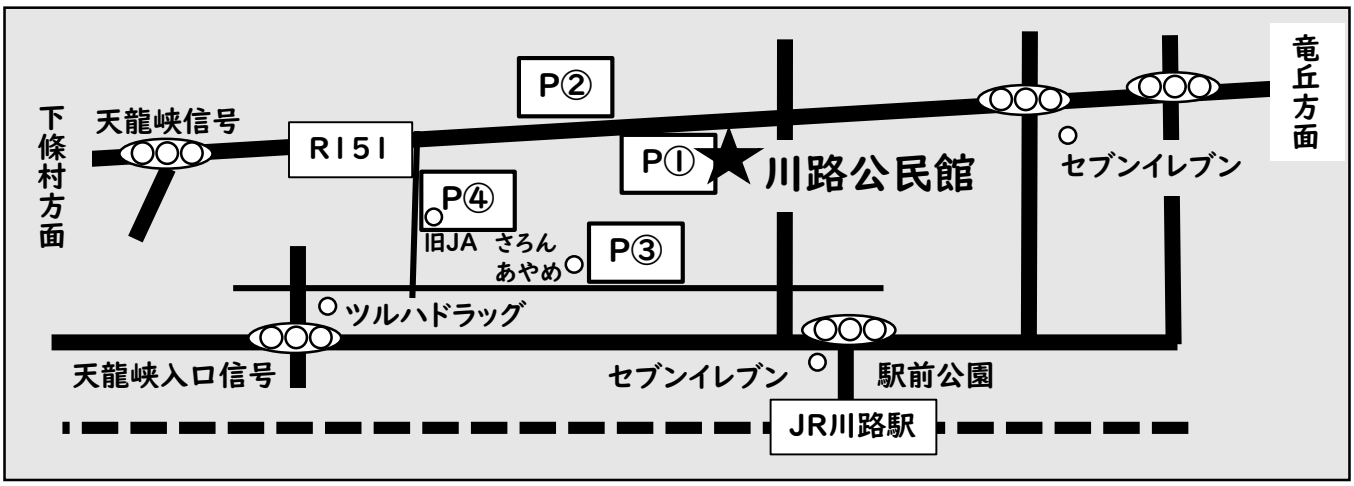
東京都出身。専門分野は、防災教育。
災害に強いまちづくり、人づくりのための教育プログラム等の研究や災害弱者が安心して暮らせる地域づくりのために活動をされています。私たちの社会は、災害に対して多くの教訓を学び、その教訓を元に様々な対策を講じています。しかし、自らが災害に直面した時に、果たして自分自身の命や家族の安全、大切な家を守ることができるのでしょうか。
大切な「いのち」と「くらし」を守るために必要なことを考えてみましょう。

【会場】飯田市川路公民館(飯田市川路2363番地)　**【参加にあたって】事前申込が必要になります。**
【開場時間】18：30　**【定員】100名(先着順)**　**詳細は、裏面をご確認ください。**

主催：飯田市公民館　主管：川路公民館　TEL：0265-27-2001　FAX：0265-27-2177

～天龍峡夏期大学講座とは～

昭和28年に始まり今年で73回目を迎える伝統ある講座です。当初は成蹊大学との共催でしたが、第17回より現在の体制になりました。各界の第一線で活躍をされている方を講師として招き、教養を高めるとともに現代的な課題を考える契機となることを目的としています。過去には市川房枝（参議院議員）、金田一春彦（言語学者）、美濃部亮吉（東京都知事）、岸田今日子（女優）、市川団十郎（歌舞伎役者）、佐々木毅（東京大学総長）、後藤謙次（ジャーナリスト）、上野千鶴子（社会学者）、尾木直樹（教育評論家）、有森裕子（マラソン選手）、小和田哲男（歴史学者）などの方々も講師として登壇いただいています。



【会場】飯田市川路公民館（飯田市川路2363番地）

（国道151号線沿い / JR川路駅下車徒歩10分、臨時駐車場より徒歩5分）

駐車場は上図 P の通りです。公民館前に駐車場係がいます。案内を参考にしてください。

◆受講料は無料ですが、事前申し込みが必要です。内容をご理解の上、下部の参加申込書をFAX、インターネット（推奨）またはお電話でお申し込みください。
なお、**受付は先着順**となります。申し込みは7月1日（火）9:00より開始となります。
※電話での申し込みの場合は平日9:00～17:15の間にお願いします。

◆駐車場が狭いので公共交通機関の利用等にご協力ください。

◆全日程を受講された方には、修了証・記念品を授与します。

インターネットからのお申し込みはこちら
（24時間受付可能）

第73回 天龍峡夏期大学 参加申込書

※受付開始日：7月1日（火）9時00から

氏　名	住　所	連　絡　先	参加講座（○印）
（フリガナ：　　）	〒　　－		7/15　第1講（　　） 7/16　第2講（　　） 7/18　第3講（　　）

【川路公民館】TEL:0265-27-2001　FAX:0265-27-2177　Eメール:iccc14@city.iida.nagano.jp